



2026(令和8)年 2月10日(火)例会 (第2967回) 報告(曇) No.2795

出席率 …… 29/45 64.44% 第2965回補正出席率 …… 37/46 80.43%

欠席者 安藤、大平、喜多村、小坂、小藤、佐藤、庄司、友森、中村、平岡、福嶋、松井、松本(勝)、三村、村山、渡邊(冬)

メイクアップ(理事会) 7名

出席免除 足立、岡空、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 山崎慎也 会長

今回の寒波は38cmの大雪でした。境港市の歴代積雪ランキングによると1位は2011年元旦の94cm! 2位は1984年2月の64cm等、何度も豪雪に見舞われています。歴代1位の豪雪時には、停電でストーブもつかない寒い朝から新年が始まりました。4輪駆動車なら大丈夫だろうと実家へ向けて出発しましたが、あちこちで雪に阻まれ、国道も倒木で走れず、結局、近場を1周して家に戻りました。その後ようやく夕方に電気が復活して日常を取り戻せ、ほっとしたのを思い出します。それ以来、停電でも使用できる石油ストーブと、ガスボンベを使用するガスコンロを常備しています。忘れた頃にやってくるのが自然災害です。皆さんの災害や停電時の備えの参考にして頂けたらと思います。

◆バスト会長時間 酒井博淳 2024-25年度会長

振り返ればRCに入ったのは2011年の2月だった。渡邊俊裕さんが会長で川田一郎さんが幹事だった。当初はマリーナホテルで景色がいい例会場だった。丸テーブルを囲んで先輩方に話しかけていただいたのがとても嬉しかったことを懐かしく感じている。青少年奉仕委員長や青少年交換、幹事、副会長、東京調布RCとの友好クラブ締結、事業の見直しなど色々な経験をさせていただき、また先輩方や会員のお力添えで昨年度会長ができたことを改めて感謝している。



◆幹事報告 定秀陽介 幹事

◎金谷GE事務所より「リーダーシップセミナー(旧・地区協)案内」 ◎米山奨学会より「確定申告用領収書」「第1回米山功労者感謝状」 ◎次年度版R手帳幹旋中 ◎東京RC熊平様より「抜粋のつづり85号」 ◎本日、例会後に「2月定例理事会」 ◎次週は休会(定款) ◎2月Rレート1\$=154円

米山記念奨学会 第1回功労者表彰(2名) 友森昌幸、鷺澤美紀 各会員

2月結婚記念日祝い 1日 渡辺 昇 13日 三輪昌輝 8日 小藤善之 28日 中村栄治 各会員

2月誕生日祝い 2日 藤瀬秀親 17日 庄司尚史 11日 松本勝志 20日 定秀陽介 各会員

— スマイルBOX —

◎結婚祝 三輪 ◎誕生祝 定秀、清水、藤瀬、堀田 ◎卓話をさせていただきます 藤瀬 ◎藤瀬会員の卓話、楽しみです。山崎、門脇、川田、酒井(博)、瀬戸、谷田、赫、浜田(貴)、鷺澤 ◎藤瀬先生の卓話、全力で拝聴させていただきます。浜田(一)【雪かき】◎疲れました 泉 ◎体が痛いです 中田 ◎早く雪が解けますように 高橋 ◎早退します 小林、北國

◆例会変更

- ☆米子RC 3/20(金) 休会(定款) ビジター受付無
☆米子東RC 3/18(水) 休会(定款) ビジター受付無
☆米子南RC 3/23(月) 休会(祝日) ビジター受付無
☆米子中央RC 3/12(木) 休会(定款) ビジター受付無

◆2月行事予定(平和構築と紛争予防月間)

2/17(火) 休会(定款7条)

◆委員会報告

◎親睦委員会…谷田真基 委員長

先週の「合同例会」には5RCから大勢ご参加いただき、無事に開催することができました。境港RCとして、5年前にはコロナ禍で中止した為、10年ぶりのホスト開催でした。当日のお出迎え、お見送りまで、皆様のご協力ありがとうございました。

◎「ローターリーの友2月号」紹介…谷田真基 雑誌・広報委員

— プログラム — 「我、93年の生涯を振り返る」 —

藤瀬秀親 会員

昭和8年生れで、先週93歳になりました。今日は私の生涯を振り返って話しをしてみたいと思います。



昭和16年に日米開戦し、敗戦前の昭和18～19年(小学5～6年)頃の一般家庭は本当に貧しい生活でした。配給されるわずかなイモや大豆かすのかたまりを湯で柔らかくして、塩をかけて食べていました。農家の子は学校へ弁当を持って来ますが、弁当を持って来られない子は腹をすかせて他の子の弁当をかっぱらって食べるようなこともあり、そんな時には先生が間に入ってなだめてくれるような時代でした。

敗戦後の昭和20～22年(中学生)頃は、学校へ行っても山の開墾ばかりさせられていました。戦後の混乱期で治安が悪くなり、自治体警察がつくられたりしましたが、警棒1本ではどうにもならない混乱した世の中でした。それでも、昭和26年(大学入学)頃には食糧事情も良くなって下宿でご飯も食べられるようになり、その後、景気も回復していきました。

私は九州の筑豊で、貧しい家の8番目の子として生まれました。昭和28年に医学部へ入学。卒業後はインターン、医局入局で修業。当時は無給だったので近所の病院のアルバイト等で収入を得ていました。しかし、家賃と子供の預け賃で給料の殆どは無くなるという生活で、医者給料は安かったです。その後、済生会境港病院や鳥取赤十字病院等に勤めて、昭和42年に境港市で開業。当時は地元医師会と紆余曲折ありましたが、私も若かったなと思います。やがて車社会になって広い駐車場が必要になり、今の場所に移転しました。その時の借金返済が80歳までかかりました。今は市内で整形外科の手術ができる唯一の病院となり、四男が次いでくれるので安心しています。

境港RCに入会して45年。顔なじみだった会員もだんだん減り、既に会員の3分の2は私の事を知らないのでは?と思い、今日は話しをさせていただきました。こんな男がおったんだと憶えておいていただければと思います。ありがとうございました。

今回(2月24日)プログラム 「境港商工会議所会頭の6期18年を振り返って」 堀田 収 会員

次回(3月3日)プログラム 「境港観光考」(取材現場から) 山陰中央新報社 境港支局長 松本稔史氏